

職員各位

岐阜市長 柴橋 正直

令和8年度 当初予算編成に向けて

◆ 3つのキーワード

(1) 社会関係資本（ソーシャルキャピタル）と住民自治

コロナ禍を経て、近年自治会加入率が低下し、地域コミュニティが弱体化している。

こうした中で、信頼・社会規範・ネットワークなど、人々が協力して行動するための社会的な仕組みと言われる社会関係資本の重要性が増している。通学路安全対策ワークショップ、小中一貫の義務教育学校「藍川北学園」の開校、鷺山公民館・鷺山子ども館の合築は、行政と地域が市民協働によって、住民自治の力を発揮した事例である。芥見東公民館・芥見南公民館・東児童センターの移転建替え、ごみ処理有料化制度の導入による地域コミュニティへの支援とごみステーションのルール化は、住民自治による対話と合意形成、市民協働による取り組みが不可欠である。

社会関係資本と住民自治の活性化に取り組むこと。

(2) 市民に資するDX（デジタル・トランスフォーメーション）

Gifu DX-Pを推進し、オンライン申請の拡充などに取り組んできたが、行政サービスのDX化の目的は、市民のタイムパフォーマンスの向上である。より便利に、よりスピーディーに行政サービスを楽しんでいただけるDX化に取り組むこと。

また、人事評価制度の見直しや業務手順の見直しなど、行政サービスを支える職員の働きがい改革にも、引き続き取り組むこと。

(3) EBPM（証拠に基づく政策立案）

毎年度取り組んでいるEBPM（Evidence-Based Policy Making）の精度を高め、BIツール等の活用や日頃からデータ収集を習慣化することなどにより、より効果的に課題や成果を把握し、政策立案及び事業の見直しに活かすこと。引き続きデジタル人材の育成に取り組むこと。

◆ まちづくりの方向性（岐阜市未来のまちづくり構想）

オール岐阜のまちづくり / シビックプライドの醸成 / DXと脱炭素化 / 持続可能で選ばれるまち
尚、「岐阜市未来のまちづくり構想」を改定するため議論を進めており、新たに必要なまちづくりの方向性については、適宜参考にすること。

◆ 政策のベクトル

(1) こどもファースト

- ◆ 岐阜市子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”の総点検結果を活かした改革を推進すること。

- ◆ 民営化した保育園の園舎建替えと、市立保育所の改修や再編により、保育環境の充実を推進すること。
- ◆ 放課後児童クラブの民間委託等により、クラブの受入人数を確保し、仕事と子育ての両立支援を推進すること。
- ◆ 児童生徒の不登校対策をより一層進め、子ども達が学びに繋がることで、孤独・孤立に陥らないようにすること。特に、不登校の低学年化の課題に取り組むこと。
- ◆ 小中一貫の義務教育学校「藍東学園」の開校により、未来の学校を実現すること。
- ◆ 「岐阜市学校施設長寿命化計画」の見直しを実施すること。
- ◆ 市立岐阜商業高等学校と岐阜市立女子短期大学の高大接続を推進すること。
- ◆ 「岐阜市立新大学基本計画」に基づき、市立新大学の開校を推進すること。
- ◆ 岐阜薬科大学のキャンパス移転・統合を進めるとともに、岐阜県・岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜市で構成するWGで、ライフサイエンス拠点づくりの議論を推進すること。
- ◆ 岐阜市の子ども達が、市のイベントの企画・運営に主体的に参加できる仕組みを構築すること。

(2) 経済活性化

- ◆ ものづくり産業等集積地計画に着実に取り組むことで、企業立地を推進すること。
- ◆ スタートアップ支援を強化する市役所の体制を構築すること。
- ◆ 農業と産業の一体的なビジョンを策定すること。
- ◆ 働きづらさを抱えた方が働ける社会をつくるワークダイバーシティを推進し、マネジメントセンターの開設、広域連携に取り組むこと。
- ◆ 障がいのある方、ひきこもりなど長時間働くことが困難な方に対して、週 20 時間未満の雇用を創出する超短時間雇用創出事業の広域連携を推進すること。
- ◆ がんサバイバーが、安心して闘病と仕事、子育てを両立できる施策を推進すること。
- ◆ 史跡岐阜城跡整備基本計画に基づき、岐阜市歴史博物館のリニューアル、岐阜城天守の耐震化工事に着実に取り組むとともに、発掘調査による史跡の保存と、織田信長公の庭園の復元整備、ビジターセンターの整備、山上部の城郭景観の復元整備などによる活用を推進すること。
- ◆ 宿泊税の財源を活かした受入環境整備や誘客促進など、観光振興に取り組むこと。
- ◆ 伝統的漁撈文化ユネスコ登録推進協議会の活動を通して、ユネスコ無形文化遺産登録に取り組むとともに、2027 年度の市営 100 周年に向けた準備を推進すること。
- ◆ 「ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画」による水辺空間活用や持続可能な鵜飼に繋げる施策をアップデートすること。

(3) 岐阜を動かす社会基盤整備

- ◆ 名鉄名古屋本線鉄道高架化事業を推進すること。
- ◆ 名鉄名古屋本線鉄道高架化事業の推進にあわせて、加納城や中山道など沿線地域の歴史まちづくり構想について検討すること。JR 長森駅周辺や上川手地区の都市計画に基づく事業

に取り組むこと。

- ◆ 再開発事業を推進すること。
- ◆ 柳ヶ瀬商店街から始まったリノベーションまちづくりを、他の地域にも更に波及させること。
- ◆ アーケードの老朽化に対する柳ヶ瀬商店街の主体的な取り組みへの支援、柳ヶ瀬広場整備の推進、柳ヶ瀬の将来像を示すエリアビジョンの策定などを進めること。
- ◆ 旧高島屋の空きビルの問題について、関係者と連携して解決を模索すること。
- ◆ 総合交通計画に基づき、自動運転バス“GIFU HEART BUS”の実装、連節バスやコミュニティバスを軸にし、バスまちばや昼得きつぷの利便性向上を図ること。岐阜県の LRT 構想については、交通面や財政面など様々な課題について、県と周辺自治体で丁寧に協議すること。
- ◆ 公共空間を活かしたまちづくりに取り組むこと。
- ◆ 多様な地域課題の解決に取り組むこと。

(4) 持続可能で幸せな市民生活

- ◆ ごみ処理有料化制度の導入と地域コミュニティの支援、自治会の負担軽減などに一体的に取り組むことで、災害時に共助を担う地域を支えること。
- ◆ 空き家対策を強化し、地域コミュニティを支援すること。
- ◆ 子どもから高齢者まで市民の居場所づくりの観点から、JR 岐阜駅の岐阜市立図書館分館及びハートフルスクエアG のリノベーションにより、みんなの森 ぎふメディアコスモスの分館としての整備を推進すること。
- ◆ 不登校・ひきこもり・8050 問題に引き続き一体的に取り組む、全ての人に居場所と出番のある社会づくりを推進すること。
- ◆ 子どもや高齢者の見守りによる市民の安心・安全を図ること。
- ◆ 障がい児の発達支援の拠点である恵光学園の施設のあり方について、検討を進めること。
- ◆ 拘禁刑の導入により、刑務所の出所者が社会復帰する際、必要な場合には福祉の支援等を円滑に受けながら更生保護に取り組むことで、再犯防止を推進すること。
- ◆ 市民病院の経営改善に取り組むこと。
- ◆ がん検診の受診率向上を推進すること。
- ◆ 保健事業と介護予防の一体的実施事業に引き続き取り組み、糖尿病患者対策を推進すること。
- ◆ 慢性閉塞性肺疾患（COPD）など非感染性疾患（NCDs）の啓発活動やポピュレーションアプローチなどにより、市民の健康づくりを推進すること。
- ◆ 市営墓地の無縁墳墓の調査を進め、合葬式墓地の整備を推進すること。

(5) その他

- ◆ 公共施設等総合管理計画を見直すこと。